

ストップ温暖化センターみやぎ『通信』Vol.35

「第 1 回活動ハンドブック作成実践特別研修」報告

今年度の宮城県地球温暖化防止活動推進員研修は、新たな試みとして活動ハンドブック作成実践特別研修を実施しています。

活動ハンドブックとは推進員が活動する際に必要な基礎知識や参考資料など、活動の基礎となるものをまとめたテキストです。推進員自らが活動ハンドブックを作り上げるという試みは全国でも初めてのため、試行錯誤しながらの研修となりました。

作成メンバーは推進員となって間もない第 4 期生が中心です。経験豊富な第 1～3 期生の方々が助言しながら進めています。推進員の活動指針となる活動ハンドブックを推進員自ら作り上げることで、各推進員の更なるレベルアップを図ります。

8 月 25 日に第 1 回目となる研修を実施し、どんな内容にするか方向性を話し合いました。講師に招いた福島県地球温暖化防止活動推進センターの高田篤氏は、福島県において活動ハンドブックを毎年作成しており、ハンドブック作成について知り尽くしている方です。



研修の前半は、講師の高田氏から作成にあたっての注意点や、何を伝えたいのかという視点の設定、構成の仕方、また著作権の問題など大変参考になるお話をいただきました。

後半は他県のハンドブックを参考にし、推進員同士で活発に意見を出し合いながら、構成について話し合いました。少しずつ宮城県で作成する活動ハンドブックのイメージができてきたように思っています。講師の高田氏の的確なアドバイスのおかげでスムーズに研修が進みましたが、一冊の本を作り上げるにはまだまだ時間を要するようです。第 2 回目以降の研修では話し合いの時間を長く設け、実施していきます。

全国で初の試みとなる推進員による推進員のための活動ハンドブック、完成するのが非常に楽しみです！



©MIC